

■意見及び質問

紺谷吉弘

国土交通省及び関西電力は天ヶ瀬ダム地の地質調査資料を公開すべきである。天ヶ瀬ダム建設時の地質調査資料を公開するかどうか返答を求めたい。

天ヶ瀬再開発計画ではダムの支持岩体に巨大なトンネルを掘る計画があるにもかかわらず、ダム関連の地質に関する議論はいっさいなされていない。

かつて天ヶ瀬ダム管理事務所が作成した資料のなかに天ヶ瀬ダムの直下を通過する東西方向の断層が記されている。仮に「天ヶ瀬断層」と呼ぶことにする。「天ヶ瀬断層」はダム左岸の支持岩体である厚さ約100mの丹波層群の砂岩層を切っている。そして「天ヶ瀬断層」の下流側では支持岩体である砂岩層が除去され発電所が建設されていることにより、支持岩体の規模は小さくなっている。天ヶ瀬ダムの支持岩体にはすでにダム建設時の仮放水路、2本の平行する発電用水路、宇治府営水道の水路で傷つけられている。さらに新たに直径26mの放水路の計画がある。このようなことでダムの安全性・耐震性が保たれるか疑問である。